



2020年9月7日

報道関係者各位

慶應義塾大学

K-Med シンポジウム「コロナ危機を科学的に捉える」開催

慶應メドテックデザインプロジェクト (K-Med <http://www.takemura.mech.keio.ac.jp/medtech/>) は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行をきっかけにポストコロナあるいはウィズコロナの時代の医療システムをより頑強で効率的なものにするための次世代メドテックデザイン方法論の構築を目指しています。そのために、眼前の危機を理工学の視点で捉え、この半年間で実践してきた内容を参加者の皆様と共有し、議論することにより、危機や課題に素早く対応するメドテックデザインの方法論へと昇華すべくオンラインシンポジウムを開催します。

なお、慶應メドテックデザインプロジェクトの活動は慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI <https://www.kgri.keio.ac.jp/>) の支援を受けており、本シンポジウムも KGRI との共催です。

1. 趣旨

新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって世界は混乱しています。有効な対策は Stay home や Social distancing の言葉に象徴されるように極めて原始的で、私たちの行動や生活は大きく変わりました。新型コロナウイルスの収束後、またはコロナとの共存の時代をよりロバストなものとするための社会構造の大改革こそ、次なる危機への備えであるとも言えます。このため、大切な生活インフラのひとつである医療を、より頑強で効率的なものにするために、私たちは次世代のメドテックデザイン方法論を構築したいと考えています。

こうした思いのもと、慶應メドテックデザインプロジェクトでは 2020 年 3 月からコロナ危機に対する様々な科学的取り組みを行ってきました。半年が経過した今、これらの取り組みの一部を紹介し、皆様と情報共有、意見交換することによって、次なる危機対応や次世代の医工連携のあり方についての学びを明示するために K-Med シンポジウム「コロナ危機を科学的に捉える」を開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

2. K-Med シンポジウム「コロナ危機を科学的に捉える」開催概要

日 時：2020 年 9 月 24 日（木）17:30～19:30

開催方法：Zoom によるオンライン開催

参加料：無料

主催：慶應メドテックデザインプロジェクト

共催：慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート

内 容 :

開会ご挨拶

竹村研治郎 慶應義塾大学 理工学部 機械工学科 教授

危機を科学的に捉えるということ

三木則尚 慶應義塾大学 理工学部 機械工学科 教授

中西美和 慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 教授

飛沫の拡散とマスクの効果 ～環境化学の視点から～

奥田知明 慶應義塾大学 理工学部 応用化学科 教授

緊急対応のものづくり ～フェイスシールドを大学病院に～

石上玄也 慶應義塾大学 理工学部 機械工学科 准教授

申込方法：下記 URL、QR コードから開催前日までにお申し込みください。Zoom への招待状をお送りします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScMp7mjr_aMXB93WH3Sagl5HrdkhNuzC2Kf2DfLBYhPCJ07vA/viewform



※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部等に送信させていただいております。

・本シンポジウムについてのお問い合わせ先

慶應義塾大学 理工学部 機械工学科 教授 竹村 研治郎 (たけむら けんじろう)

TEL : 045-566-1826 FAX : 045-566-1826 E-mail : takemura@mech.keio.ac.jp

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>